

第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山

2018年8月25日(土)～26日(日) 富山県総合社会福祉会館(サンシップとやま)

発行：第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山 実行委員会 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会
〒930-0806 富山県富山市木場町 2-21 TEL：076-441-7331 FAX：076-441-7305 Email：info@tomichokyo.or.jp

速 報

第2号

2018年8月

**申込ありがとうございました！
クーポン券を発送しました。
内容をご確認くださいませ。
一同、富山でお待ちしております！！**

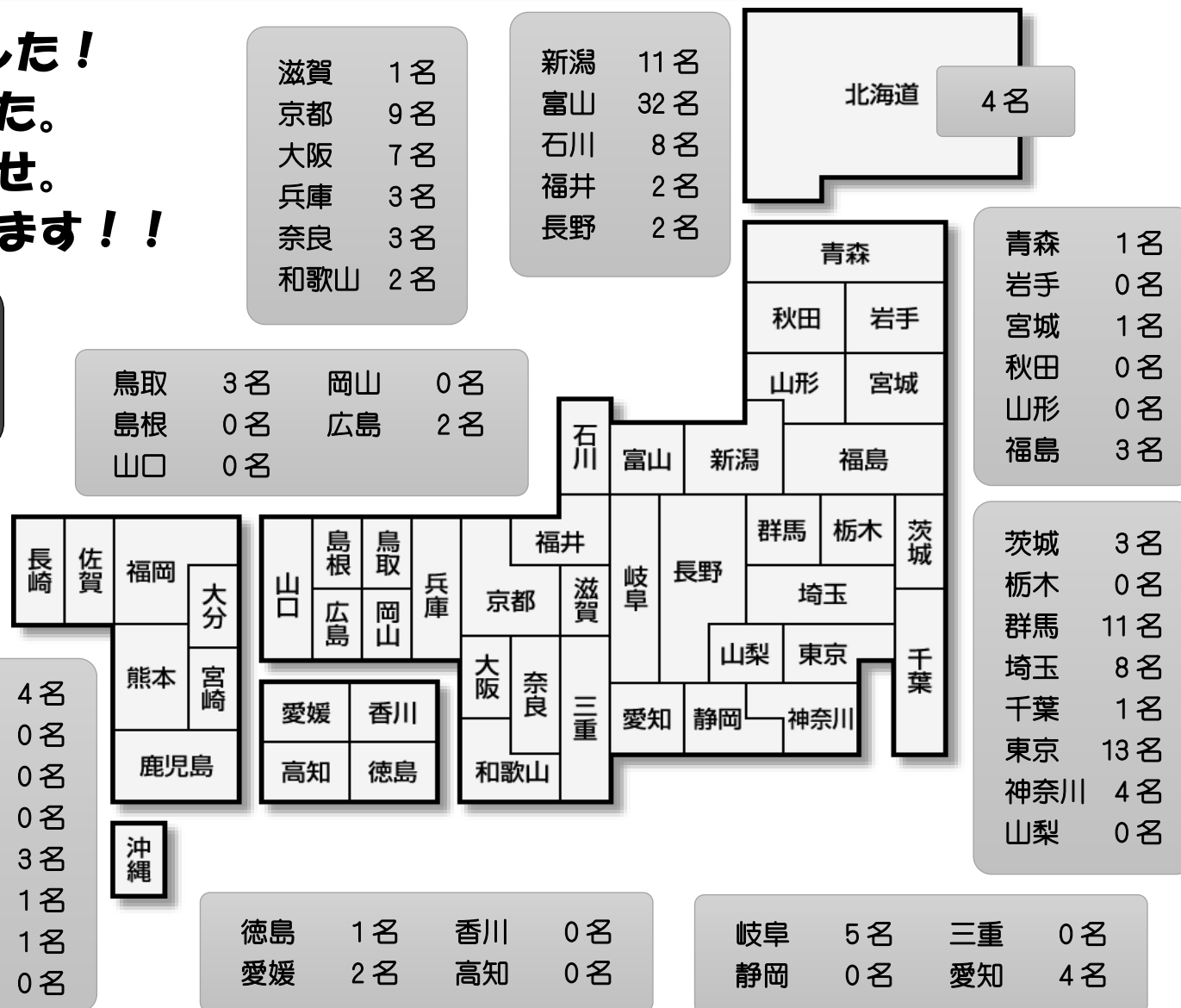
参加申込数 235 名

(要員 80 名含む)

各分科会参加申込数

全体会	130名
分科会1	19名
分科会2	24名
分科会3	24名
分科会4	62名
特別講座	17名
小中高企画	10名
交流会	47名

↓会場の詳細はウラをごらんください↓



各分科会会場のご案内 サンシップとやま

全 体 会	…	福祉ホール（1階）
分科会 1	…	601号室（6階）
分科会 2	…	602・603号室（6階）
分科会 3	…	701号室（7階）
分科会 4	…	福祉ホール（1階）
特別講座	…	501号室（5階）
閉 会 式	…	福祉ホール（1階）
展示販売	…	県民サロン（2階）

P おクルマでご来場の方へ

サンシップとやまの駐車場をご利用の場合は、利用券をおもちください。（無料になります。）

なお、駐車場には限りがございますので、相乗りや公共交通機関のご利用をお願いいたします。

特に26日（日）は満車の可能性が高いです。満車の場合は、付近の有料駐車場などをご利用ください。

富山県に2校ある富山・高岡聴覚総合支援学校の児童・生徒作品展、ろう教育を考える全国討論集会30年の歩みの展示をします。

書籍販売もしますので、ぜひお越しください。



サンシップとやま
ガラスばりの
船の形の建物です



交流会会場
富山県民会館
富山県庁隣です



交流会では八尾おわら
風の盆 踊りを披露し
ます！お楽しみに！

◆◆◆◆◆アクセス◆◆◆◆◆

…メイン会場 サンシップとやま…

○徒歩の場合

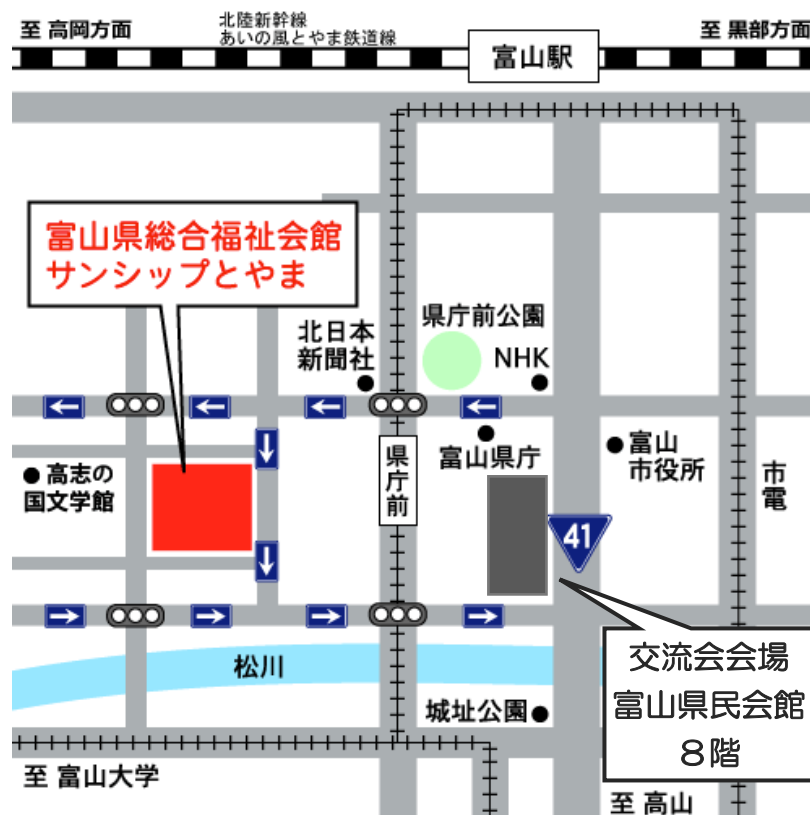
富山駅から徒歩15分

○路面電車（通称：市電）の場合

- ・富山駅 北陸新幹線正面改札口を出てまっすぐ進むと、市電の駅があります
- ・3番ホームから「大学前行き」又は「環状線」にご乗車ください
共に日中は10分間隔で出ています
- ・富山駅から2駅の「県庁前」電停で下車後、徒歩2分で着きます
- ・運賃 200円（障割 100円）

…交流会会場 富山県民会館…

サンシップとやまから徒歩7分



第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山

2018年8月25日(土)～26日(日) 富山県総合社会福祉会館(サンシップとやま)

発行：第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山 実行委員会 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会
〒930-0806 富山県富山市木場町 2-21 TEL：076-441-7331 FAX：076-441-7305 Email：info@tomichokyo.or.jp

速 報

第3号

2018年8月

平成30年8月25日(土)

サンシップ富山にて 第30回ろう教育を考える全国討論集会
開会式・基調報告が行われました！



本集会で徹底的に語り合うことができればと願っています。
富山も楽しんでください。

歓迎の挨拶
実行委員長
石倉 義則



ろう教育の現場で手話言語条例をどう活かすか学び、討論していきましょう。

主催者の挨拶
ろう教育を考える全国協議会
理事長
長谷川 芳弘 氏



あいさつすべて、手話をつけてお話しいただきました。

祝辞
富山県知事 石井隆一様代理
富山県厚生部障害福祉課
課長 大村 政人 様



30年重ねてきた集会の歴史の中で「言語としての手話」を確立していくことがろう教育の充実につながります。

基調報告
ろう教育を考える全国協議会
副理事長
山根 昭治 氏

全体会 パネルディスカッション

テーマ：今、私たちが望む手話教育のあり方とは？



コーディネーターの小中氏を中心に、久松 三二氏、庄司 美千代氏、武居 渡氏、徳岡 英一氏をパネラーに迎え、パネルディスカッションしていただきました。

文部科学省の学習指導要領を初めて知った。手話普及につながられたらと思った。
鹿児島県 平山 大輔

今回の集会は初参加。手話教育のあり方について、今後のろう児、生徒、先生、または親など周りの環境に対してどのようにアクションをかけていくか考えさせられた。
東京都 野添 亘

全体会に参加した方からの感想

「手話は言語である」という考えにのっとれば、世界の様々な言語が小中高で学べないだろうかと一瞬思った。同時社会、ダイバーシティ社会、これから成熟していく中で言語教育のあり方を全面的に見直すべきではないだろうかと強く思った。
大阪府 川口 聖



第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山

2018年8月25日(土)～26日(日) 富山県総合社会福祉会館(サンシップとやま)

発行：第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山 実行委員会 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会
〒930-0806 富山県富山市木場町 2-21 TEL：076-441-7331 FAX：076-441-7305 Email：info@tomichokyo.or.jp

速 報

第4号

2018年8月

分科会1・2(1日目)

第1分科会：教育現場での授業づくり、 コミュニケーションづくりの工夫



先生として、生徒たちのコミュニケーション方法を重点に考えたり、工夫しながら実施したりするのが一番大変な取り組みだったと感じた。

埼玉県・匿名

3名の先生(聾学校)から実践報告をいただいた。その中で算数、数学、保健体育、家庭科について、ろう児・生徒は「目の人」であり、視覚的に分かりやすい教材の工夫が必要であること。また子どもの語彙力の不足が文章の読み取れないという学習に影響があるという報告があり大きな課題を感じた。

京都府・竹本明史

第2分科会：早期教育・支援



長く「思い」を持ち続けた人がいて手話言語条例に「言語獲得」が盛り込まれ、ろう者団体の活動と助成してくれる団体がある。そしてスタッフが集まる。このすべてが揃って実現できたのだと感じた。

神奈川県・野間 紳

教師がろう児のことを考え、早期教育・支援に取り組んでいると話を聞いて、大変羨ましく思った。現在のろう児がよい教育環境の中で言葉を獲得し、手話も覚えて、意欲と積極的に行動力があって心優しくて頼りになるろう者になってくれることを心から期待している。群馬県・F.K

分科会3・4(1日目)

第3分科会：放課後ディサービスなどの取り組み



来年の開催地である群馬から視察で来ました。分科会に参加し、聞こえる親が手話を学び、ろうの子供と楽しく会話し、コミュニケーション能力を育む環境が重要だと感じました。
群馬県・早川 健一

ろう児、難聴児の将来のことを考え、活動している人が大勢いて驚きました。金銭的支援が少ない中での活動は素晴らしいと思います。私もいつか、力になりたいと思いました。

大阪府・ペトロフ アレクサンドル

第4分科会：手話と日本語を自由に使える子どもたちを育てていくために



一般参加です。分科会の内容はレベルが高く、難しい…。若者たちに頑張る情熱が素晴らしいと感じました。「デフ・フード」とはなるほど。テーマとはちょっとずれてるかな？
愛媛県 森 光義

第4分科会、いい勉強になりました。まず手話と日本語を使えるのが大切です。
熊本県 カワセミ

Deafhood の取り組みで、自分の障害、文化、歴史をしるだけでなく、大人になって生きる時の強みになると思う。通常の授業の中で学ばせる大宮ろうの姿勢が他のろう学校にもあればと思いました。
東京都・U

第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山

2018年8月25日(土)～26日(日) 富山県総合社会福祉会館(サンシップとやま)

発行：第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山 実行委員会 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会
〒930-0806 富山県富山市木場町 2-21 TEL：076-441-7331 FAX：076-441-7305 Email：info@tomichokyo.or.jp

速 報

第5号

2018年8月

特別講座(1日目)

絵本手話語りを学ぼう



「絵本語り」で早瀬さんの魅力的手話に引き込まれました。地元に戻って伝えたいのですが、未熟な私には…。富山へ来た自分への土産として、明日も色々と吸収させていただきます。

群馬県 M



今までは絵本の日本語の文章を手話に翻訳させることばかり考えていました。絵から自由に手話で発想する方法で、絵本に引き込まれた方が、日本語を学ぶ近道になるかもしれないと知りました。自分のやり方を根本から見つめ直したいと思いました。

茨城県 糸川 雅美

小・中・高校生企画(1日目)

出会い！感動！夢体験！

3,000m級の北アルプス、立山連峰のふもとで、ダイナミックな自然の素晴らしさを体感してみよう！

ピザ作り



子ども達の希望の遊び

(やる予定だったジョイフレンドが
雨で中止になってしまいました)



好きな食べ物ビンゴ



花いちもんめ

沢歩き



第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山

2018年8月25日(土)～26日(日) 富山県総合社会福祉会館(サンシップとやま)

発行：第30回ろう教育を考える全国討論集会 in 富山 実行委員会 社会福祉法人富山県聴覚障害者協会
〒930-0806 富山県富山市木場町 2-21 TEL：076-441-7331 FAX：076-441-7305 Email：info@tomichokyo.or.jp

速 報

第6号

2018年8月

分科会1・2・3(2日目)

第1分科会 教育現場での授業づくり、 コミュニケーションづくりの工夫



第2分科会 早期教育・支援



第3分科会 放課後デイサービスなどの取り組み



参加者からの質問について、3人の報告者からの回答は大変わかりやすい丁寧な説明でした。

ろう学校の現場の様子、先生方の悩みをたくさんうかがえるとは思っていませんでした。

有意義な2時間でした。

ありがとうございました。

東京都 市川 珠江

それぞれの教育現場に様々な実情があり、ろう学校の中だけで解決するのは難しい問題なのだろうと思いました。

補聴器か人工内耳かの選択、だれが責任を持つのか、本人の自己決定は…？

だれもが、どの選択をしたとしても自分らしく幸せに生きられる社会になってほしいと思いました。

京都府 オムライス

この分科会を選んだ理由は、ろう協とデイサービス等を利用しているろう児とのパイプがまだ弱いと、全国ではどうしているか知りたかったからです。

実際、話を聞いていたら、特に青年部と一緒に交流をする企画がいくつかあったので、京都に持ち帰って、これからの活動につなげていきたいです。

京都府 村上 達也

分科会4・特別講座(2日目)

第4分科会：手話と日本語を自由に使える 子どもたちを育てていくために



「国語」を再編成して「手話科」と「日本語」を設けている明晴学園での助詞指導と作文指導の実践を聞きました。

言語を育てるためには、「伝えたい」と「受け取りたい」の両方の気持ちが必要です。その「気持ち」を引き出すための教材づくりや研究が必要だと、強く思いました。

埼玉県 松村 佳実

特別講座 絵本手話語りを学ぼう



絵本手話語りの技術と手話表現など、アドバイスをいただき大変勉強になりました。

長野県 内田 博幸

(1日目夜) 交流会



会ったことない人が多く、情報交換ができた有意義な時間だった。連盟理事がおわら踊りをしている様子は面白く、笑えました。

新潟県 清水 直人

第30回という節目にふさわしい企画、富山に関するクイズなど、とても楽しかったです。人生初の富山県！また来たいと思いました。

福島県 山田 尚人

ろう教育について討議し、有意義な2日間になったと思います。皆様、富山県に来ていただき、ありがとうございました！ 来年は、群馬県で開催です。また地元で1年間、取り組んで、その成果を持ち寄ってお会いしましょう！

